

市に報告書提出

調査委 数日中にも公表

2007.8.1 岐阜

二〇〇四(平成十六)年四月の山県市議選で、公費負担されるポスター代を市議ら数人が水増し請求した詐欺容疑事件に、同市が依頼した弁護士でつくる調査委員会による報告書が三十一日、同市に提出された。

平野元市長は「報告書に基づき、数日中に水増し分の返還方法などについて市の方針を決め、公表したい」として、三日にあらためて会見し、説明するとした。

調査委員会は、市が選挙公営制度を導入していた〇三年四月から〇七年三月までの市議選、市長選を対象に、選挙公営制度に絡んだ水増し請求の実態を調査し、市の対応方法について提言することを目的に設置された。

委員は弁護士三人。公費負担対象となるポスター代、自動車の借り上げ代、燃料代、運転手の日当代について全候補者と印刷業者、燃料業者、運転手などから聞き取りなどを行った。

山県市議選ポスター 費水増し請求

調査委が市長に報告書

2007.8.1 毎日

04年の山県市議選で公費で負担されるポスター制作費が水増し請求された事件で、市の不正請求問題調査委員会(委員長・森裕之弁護士)は31日、平野元市長に報告書を提出した。

【稲垣衆史】

山県市、公表先送り

「水増し」調査委が報告書

2007.8.1 中日
選挙ポスター

市議選の選挙ポスター制作費水増し請求問題で、岐阜県山県市が設置した第三者の不正請求問題調査委員会は三十一日、調査報告書を平野元市長に提出した。

市長は「客観的な調査の結果はすぐに公開するのが当然」と批判の声が上がっている。

三日に記者会見を開き、分護十三人で構成する

2007.8.1 中日
費請求
不正
ポスター

誰のための調査

山県市の調査委 公表先送り 市民に不信感も

選挙ポスター制作費水増し問題の詳細が明らかになると注目された山県市の不正請求問題調査委員会。三十一日、報告を受けた市が内容の公表を先送りしたことで、市民からは「誰のための調査か」といった疑問の声も。公表前に市が当該の市議と相談する懸念さえ指摘され、第三者調査の意義は揺らいでいる。

この日は森裕之委員長ら委員の弁護士三人が市役所で平野元市長に報告書を手渡した。森委員長によると、選挙公営制度を利用したほぼすべての関係者に調査を行い、水増し額や返還方法を報告したという。

平野市長は「市民に公開しようと思っ」と述べたが「何が書いてあるかわからない」と即時公表を拒否。市幹部は「内容を書き換える考えなどない。精読する時間がほしい」と説明したが、平野市長は問題の議員と相談なれ合いで、第三者委の

「幹部と検討する」と答えた。

こうした市の対応に、同市高富の無職男性(59)は「結果をオープンにしないなんて」と驚き「真実を一日も早く知りた

(議員との相談は)

2007.8.1 朝日

ポスター調査委が報告書提出

山県市長、内容明かさず

山県市議選のポスター代水増し事件で、市が6月に設置した、外部の弁護士による不正請求問題調査委員会(森裕之委員長)が31日、調査報告書を市に提出した。森委員長から報告書を受け取った平野元市長は「さっそ内容を市の方針を明記し、水増しの金額を明記し、市に対応の方針を提言している」と話した。

一方、森委員長は新たな水増しの事実が判明したかなど具体的な内容については「調査対象の個人名を記載しているためどこまで公表できるかの判断は市にゆだねる」として明らかにしなかった。

市は3日に記者会見を開いて調査結果と市の対応を発表する。橋井勉副市長は「市として報告書を精査する前に、内容についての問い合わせが殺到する」と困る。即座に公開する必要はないと話している。

調査委は、水増し額や返還方法などを検討するため六月下旬に設置。問題となった二〇〇四年四月の市議選で選挙公営制度を利用した元候補者や印刷業者のほか、公費負担の対象となった選挙カー燃料費や運転手報酬など

の関係者から、聞き取りや書面による調査を行った。公表先送りについて、調査委の森裕之委員長は「報告は市に対して行った。公表は市の判断に委ねたい」と話した。